

水切りクリップの施工



動画で見る
雨とい施工動画集
<https://www2.panasonic.biz/ls/sumai/manual/movie/amatoi>



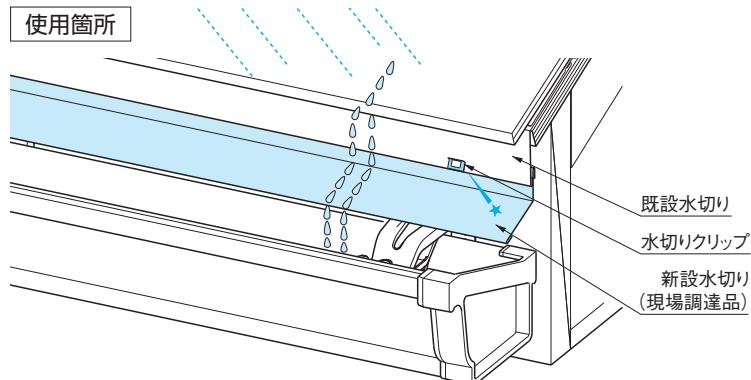
必ず守る

- 水切りクリップと水切りが確実に取り付いていることを確認する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

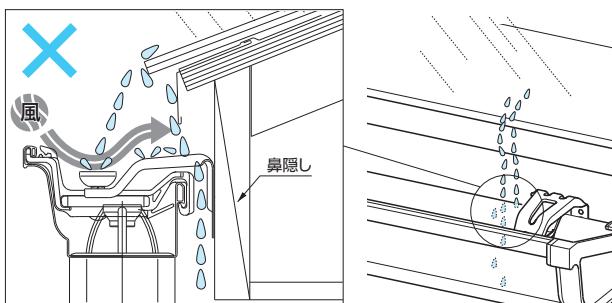
- 鼻隠し側への雨水まわり込み防止の施工を行う際にお使いいただける「便利部材」です。

- 新設水切り(現調品)を既設水切りに水切りクリップで固定するため、リベット留めで固定していた従来の補修方法に比べて、リベット下穴を開ける作業が不要となり、容易に取り付けることができます。

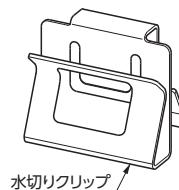
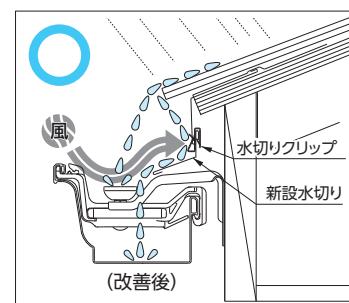
使用箇所



- 雨といの納まりが、悪い場合の雨水の流れ



雨水が水切りを伝って、雨といの後ろ側へまわる



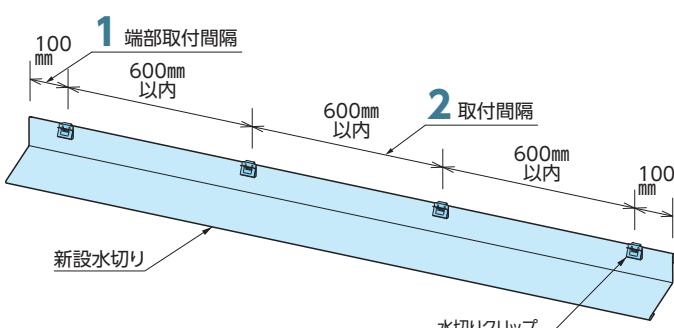
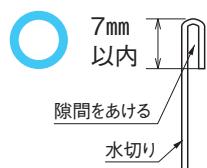
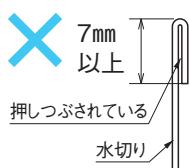
1 取り付け間隔の確認

1 端部の水切りクリップは、端部から100mmの位置に取り付ける。

2 水切りクリップの取り付け間隔は、600mm以内を目安にする。

お願い

- 水切りは現場に合わせた寸法で製作してください。
- 水切りの折り返しが7mm以上の場合、
水切りクリップの取り付けができません。
- 水切りの折り返しが押しつぶされていると水切りクリップの取り付けができません。

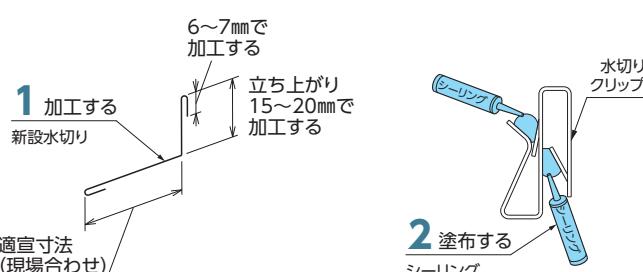


2 水切りクリップの取り付け方法

1 右図の寸法で新設水切りを加工する。
新設水切り切断面のバリは取り除く。
(水漏れ防止のため)

2 シーリングを塗布する。

3 水切りクリップを新設水切りに取り付ける。



適宜寸法
(現場合合わせ)

1 加工する
新設水切り

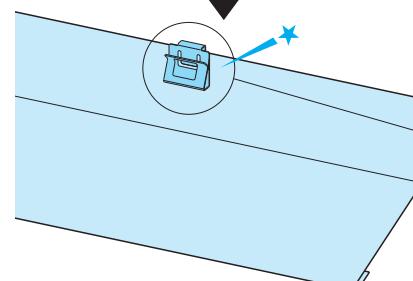
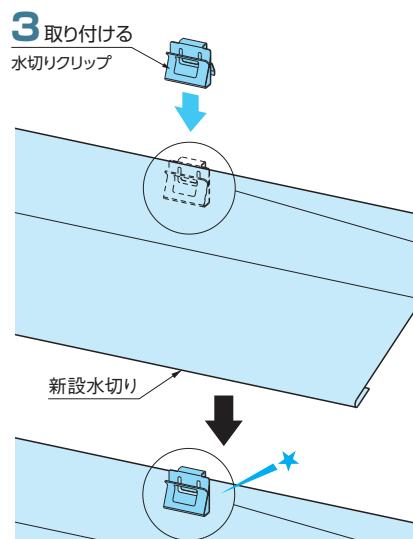
6~7mmで
加工する

立ち上がり
15~20mmで
加工する

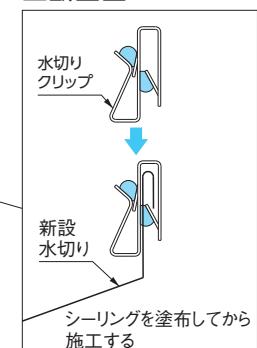


2 塗布する
シーリング

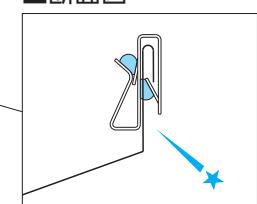
3 取り付ける
水切りクリップ



■断面図



■断面図



3 新設水切りを、水切りクリップで既設水切りに取り付ける。

■断面図

